

は だ はちまんぐうぶん こ きゅうぞう し りょう
羽田八幡宮文庫 旧 蔵 資 料

<概要>

員 数

9, 218件

内訳 書籍 9,044 件、文書及び畳もの 9 件、軸もの 15 件、
その他歴史資料 150 件

(豊橋市 9,040 件、羽田八幡宮 173 件、神明社 5 件)

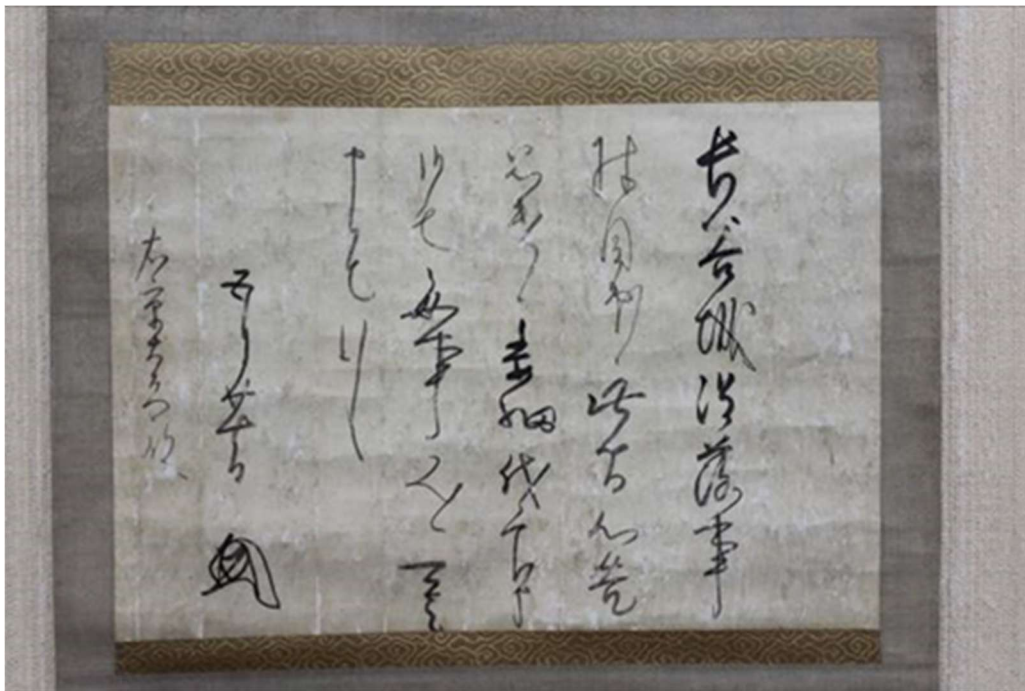
羽田八幡宮文庫は、江戸時代末期に羽田八幡宮に設置されて、書籍の閲覧と貸出を行い、近代的図書館の先駆けとなった施設である。明治 9 (1876) 年には、蔵書数 10,369 点を数えた。明治 40 (1907) 年頃に文庫は閉鎖されたが、明治 44 (1911) 年に豊橋市が約九千件を買い取り、大正 2 (1913) 年に開館した豊橋市立図書館^(※)の蔵書となった。

書籍の内容は、国学、神道や郷土資料を中心としつつ、人文、社会、自然の各分野にわたる。また、本資料には足利義詮^{あしかがよしあきら}、織田信長らの文書や、蔵書印、書函なども含まれている。なお、旧文庫の建物として蔵（書庫）なども現存している。

豊橋市立図書館^(※) 現在の豊橋市中央図書館。1983 年に中央図書館が現在地に開館するまで用いられた館名。



羽田八幡宮文庫旧蔵資料 収蔵状況（豊橋市中央図書館）



羽田八幡宮文庫旧蔵資料 足利義詮書状



羽田八幡宮文庫旧蔵資料 織田信長朱印状